

地域	村山							最上	置賜	庄内		
基幹施設	山形大学医学部附属病院 P.29	山形県立中央病院 P.47	山形市立病院済生館 P.51	済生会山形済生病院 P.52	至誠堂総合病院 P.53	山形県立河北病院 P.54	山形県立新庄病院 P.55	公立置賜総合病院 P.56	日本海総合病院 P.57	鶴岡協立病院 P.61	山形県立こころの医療センター P.62	
基本診療領域	プログラム数	34	18	4	1	1	1	1	1	4	1	1
内科	4	○ P.29	○ P.47	○ P.51						○ P.57		
小児科	1	○ P.30										
皮膚科	1	○ P.31										
精神科	2	○ P.32									○ P.62	
外科	3	○ P.33	○ P.48							○ P.58		
整形外科	2	○ P.34		○ P.52								
産婦人科	2	○ P.35								○ P.59		
眼科	1	○ P.36										
耳鼻咽喉科	1	○ P.37										
泌尿器科	1	○ P.38										
脳神経外科	1	○ P.39										
放射線科	1	○ P.40										
麻酔科	3	○ P.41	○ P.49							○ P.60		
病理	1	○ P.42										
臨床検査	0											
救急科	2	○ P.43	○ P.50									
形成外科	1	○ P.44										
リハビリテーション科	1	○ P.45										
総合診療	6	○ P.46			○ P.53	○ P.54	○ P.55	○ P.56		○ P.61		

●プログラムの特色

山形大学医学部附属病院を基幹施設として、山形県医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで地域の実情に合わせた実践的な医療も行うように訓練されます。内科専門医としての基本的臨床能力獲得後はさらに高度な総合内科のGeneralityを獲得する場合や内科領域Subspecialty 専門医への道を歩む場合を想定して、複数のコース別に研修をおこなって内科専門医の育成を行います。卒後6年目に内科専門医取得となります。疾患の幅の広さ、指導医の層の厚さ、融通の利くスケジュールが特徴です。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	鶴岡市立荘内病院	特別連携	篠田総合病院
連携	山形県立中央病院	連携	済生会山形済生病院	特別連携	小国町立病院
連携	日本海総合病院	連携	三友堂病院	特別連携	最上町立病院
連携	公立置賜総合病院	連携	至誠堂総合病院	特別連携	朝日町立病院
連携	山形県立新庄病院	連携	東北中央病院	特別連携	余目病院
連携	山形県立河北病院	連携	国立山形病院	特別連携	みゆき会病院
連携	山形市立病院済生館	連携	新庄徳洲会病院	特別連携	鶴岡協立病院
連携	米沢市立病院	連携	石巻赤十字病院	特別連携	公立高島病院
連携	北村山公立病院	連携	寒河江市立病院	特別連携	国立米沢病院 他

●専門研修ローテーションモデル ※第1内科モデルコース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	初期研修											
2年目	初期研修											
3年目	基幹病院 (第1内科)						基幹病院 (第2内科)			基幹病院 (第3内科)		
4年目	基幹病院 (第1内科)						連携施設					
5年目	連携施設											

●取得可能なサブスペシャリティ

消化器病専門医、循環器専門医、呼吸器専門医、血液専門医、内分泌代謝科専門医、糖尿病専門医、腎臓専門医、肝臓専門医、神経内科専門医、リウマチ専門医、消化器内視鏡専門医、がん薬物療法専門医、感染症専門医、アレルギー専門医 (各学会・日本専門医機構認定) ほか

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身 分：医員 (年俸制) 又は助教
- 給 与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：24名
- 応募期間：令和5年度9月以降を予定
- 選考方法：面接による

●問合せ先

- 担当者：各科内科専攻医担当 (1内 井上 2内 柿崎 3内 柄澤 腫瘍内科 鈴木)
- TEL：023-628-5017/FAX：023-628-5019
- E-mail：yu-sotsugo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/kenshu/index.html

# 山形大学医学部附属病院小児科研修医（専攻医）プログラム

## ●プログラムの特色

山形県内全域に多彩な研修病院を擁しており、1次医療から難治疾患の高度医療まで総合的に研修可能。基本的診療技能、救急対応、新生児医療、各臓器疾患対応は勿論、小児保健、ワクチンを中心とした予防医療、健康診査法まで、育児・健康支援者、総合医療者となるべく、研修を進めることができる。

またこの研修期間中に積極的に对外発表を行うことで、臨床研究、疫学研究、臨床につながる基礎研究を考えていく契機とすることを意図している。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形市立病院済生館	連携	山形県立中央病院
連携	日本海総合病院	連携	米沢市立病院	連携	公立置賜総合病院
連携	山形県立新庄病院	連携	済生会山形済生病院	関連施設	山形県立 こども医療療育センター

## ●専門研修ローテーションモデル（基本3年のプログラム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	連携病院（一般小児）											
2年目	基幹病院（腎・内分泌）				基幹病院（血液）				基幹病院（神経）			
3年目	基幹病院（循環器）				基幹病院（希望）				連携病院（新生児）			

## ●取得可能なサブスペシャリティ

血液専門医（日本血液学会・日本専門医機構認定）、内分泌代謝科専門医（日本内分泌学会・日本専門医機構認定）、腎臓専門医（日本腎臓学会・日本専門医機構認定）のほか、周産期新生児専門医（日本周産期・新生児医学会認定）、小児循環器専門医（日本小児循環器学会認定）、小児神経専門医（日本小児神経学会認定）、小児血液・がん専門医（日本小児血液・がん学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：7人
- 応募期間：例年10月に1次募集を開始、締め切りは11月
- 選考方法：書類選考・面接

## ●問合せ先

- 担当者：荻野大助
- TEL：023-628-5329/FAX：023-628-5332
- E-mail：shoni@mws1.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://minfo2.id.yamagata-u.ac.jp/Ped/jinzai.html

# 山形大学医学部皮膚科研修プログラム

## ●プログラムの特色

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術を獲得できることを目標とする。当院は山形県の皮膚がん診療の中心となっている他、難治性皮膚疾患、稀な疾患などの診療も行っており、より専門性の高い疾患の診断・治療の研修を行うことができる。さらに医師としての診療能力に加え、教育・研究などの総合力を培うことができる。連携病院では、急性期疾患、頻繁に関わる疾病に適切に対応できる総合的な診療能力を培い、地域医療の実践、病診連携を習得し、特に山形市立病院済生館では、皮膚アレルギー疾患に対する検査、治療方法を習得することができる。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形県立新庄病院
連携	山形市立病院済生館				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹病院（山形大学医学部附属病院）での研修											
2年目	基幹病院（山形大学医学部附属病院）での研修											
3年目	連携病院（県立中央病院、県立新庄病院、山形市立病院済生館）での研修											
4年目	基幹病院（山形大学医学部附属病院）での研修											
5年目	基幹病院（山形大学医学部附属病院）での研修											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

アレルギー専門医（日本アレルギー学会・日本専門医機構認定）のほか、皮膚悪性腫瘍指導専門医（日本皮膚科学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：5人
- 応募期間：2023年度9月1日～（予定）
- 選考方法：書類審査及び面接

## ●問合せ先

- 担当者：紺野隆之
- TEL：023-628-5361/FAX：023-628-5364
- E-mail：t-konno@med.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://minfo2.id.yamagata-u.ac.jp/hifuka/#



# 精神科領域専門医研修プログラム

## ●プログラムの特色

本プログラムでは児童思春期から高齢者までの様々な疾患に対して、高い診断能力を身につけ、精神療法を柱とする心理社会的療法と薬物療法などの生物学的治療をバランスよく行うことができる医師を養成することを目的としている。総合病院では身体合併症を有する症例、リエゾン・コンサルテーション精神医学、修正型電気けいれん療法、認知症の脳画像診断法などを、精神科病院では、精神科救急、司法精神医学、リワークプログラムによるうつ病の復職支援、SSTなどの精神科リハビリテーションを経験することができる。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立 こころの医療センター	連携	日本海総合病院
連携	二本松会山形さくら町病院	連携	二本松会かみのやま病院	連携	公立置賜総合病院
連携	敬愛会尾花沢病院	連携	産業医科大学病院		

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹病院である山形大学医学部附属病院で、精神科医としての基本的な知識、技術を身に付ける。											
2年目	精神科病院で精神科救急、精神科リハビリテーション等を経験する。											
3年目	総合病院でリエゾン・コンサルテーション精神医学、修正型電気けいれん療法等を経験する。											
4年目	可能な限り専攻医の希望に応じて研修病院を決める。											
5年目	可能な限り専攻医の希望に応じて研修病院を決める。											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

日本臨床精神神経薬理学専門医（日本臨床精神神経薬理学会認定）、日本認知症学会専門医（日本認知症学会認定）、日本老年精神医学会専門医（日本老年精神医学会認定）、子どものこころ専門医（子どものこころ専門医機構認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：10名
- 応募期間：2023年度9月1日～（予定）
- 選考方法：履歴書記載内容と面接に基づき審査

## ●問合せ先

- 担当者：簡野宗明
- TEL：023-628-5322/FAX：023-628-5325
- E-mail：makanno@med.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/NP/neo/

# 山形大学外科専門医研修プログラム

## ●プログラムの特色

1. 基本的診療能力、専門的診療能力、高い倫理性を備え、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医の育成
2. 初期臨床研修から連動したフレキシブルなプログラム編成が可能
3. 大学院コースの設定が可能



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	北村山公立病院	連携	公立置賜総合病院
連携	三友堂病院	連携	篠田総合病院	連携	白鷹町立病院
連携	仙台市立病院	連携	立川総合病院	連携	鶴岡市立荘内病院
連携	天童市民病院	連携	東北中央病院	連携	新潟大学医学部総合病院
連携	日本海総合病院	連携	山形県立河北病院	連携	山形県立新庄病院
連携	山形県立中央病院	連携	山形済生病院	連携	山形市立病院済生館
連携	米沢市立病院	連携	東都春日部病院	連携	仙台厚生病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	連携施設 A											
3年目	連携施設 B			連携施設 C			山形大学医学部附属病院					

## ●取得可能なサブスペシャリティ

消化器外科専門医（日本消化器外科学会・日本専門医機構認定）、呼吸器外科専門医（日本呼吸器外科学会・日本専門医機構認定）、心臓血管外科専門医（日本血管外科学会・日本専門医機構認定）、小児外科専門医（日本小児外科学会・日本専門医機構認定）、乳腺専門医（日本乳癌学会・日本専門医機構認定）、内分泌外科専門医（日本内分泌外科学会・日本専門医機構認定）、消化器病専門医（日本消化器病学会・日本専門医機構認定）、食道外科専門医（日本食道学会認定）、肝胆膵外科高度技能専門医（日本肝胆膵外科学会認定）、内視鏡外科技術認定（日本内視鏡外科学会認定）、ロボット支援手術プロクター認定（日本内視鏡外科学会認定）、臨床栄養認定医（日本臨床代謝栄養学会認定）ほか

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：11名
- 応募方法：プログラム統括責任者（山形大学医学部附属病院第一外科 元井 冬彦）宛に『山形大学外科専門医研修プログラム応募申請書』（山形大学医学部附属病院卒後臨床研修センターHP）および履歴書を提出してください
- 応募方法：5月1日～10月31日
- 選考方法：書類選考および面接

## ●問合せ先

- 担当者：元井冬彦（山形大学医学部附属病院 第一外科）
- TEL：023-628-5336/FAX：023-628-5339 ●E-mail：fmotoi@med.id.yamagata-u.ac.jp
- 山形大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター（http://www.id.yamagata-u.ac.jp/kenshu/）



# 山形大学整形外科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する医学の新しい知識と技能を修得できるような幅広い基本的な臨床能力（知識・技能・態度）が身についた整形外科専門医となることができる。

関節外科、手外科、脊椎外科、スポーツ医学、救急医療、リハビリテーションなどそれぞれに特色をもった山形県、宮城県、福島県に17の施設、病院があり、教育経験豊かな指導医のもと、機能的なローテーションを通して、プライマリケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことができる。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	済生会山形済生病院	連携	日本海総合病院
連携	公立置賜総合病院	連携	山形県立中央病院	連携	泉整形外科病院
連携	吉岡病院	連携	三友堂病院	連携	山形県立 こども医療療育センター
連携	山形県立河北病院	連携	山形県立新庄病院	連携	みゆき会病院
連携	寒河江市立病院	連携	柊記念病院	連携	町立真室川病院
連携	至誠堂総合病院	連携	公立高島病院	連携	北村山公立病院
連携	日本海酒田 リハビリテーション病院	連携	米沢市立病院		

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	山形県立中央病院、日本海総合病院、公立置賜総合病院、済生会山形済生病院											
3年目	上記を含む他の連携研修施設病院											
4年目												

## ●取得可能なサブスペシャリティ

リウマチ専門医（日本リウマチ学会・日本専門医機構認定）のほか、脊椎脊髄外科専門医（日本脊椎脊髄病学会認定）、手外科専門医（日本手外科学会認定）、がん治療認定医（日本がん治療認定医機構認定）、骨・軟部腫瘍医（日本整形外科学会認定）、日整会認定リウマチ医（日本整形外科学会認定）、日整会認定スポーツ医（日本整形外科学会認定）、日整会認定脊椎脊髄病医（日本整形外科学会認定）、日整会脊椎内視鏡下手術・技術認定医（日本整形外科学会認定）、日整会認定運動器リハビリテーション医（日本整形外科学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：8名
- 応募期間：2023年度9月1日～（予定）
- 選考方法：書類選考及び面接

## ●問合せ先

- 担当者：菅原正登
- TEL：023-628-5355/FAX：023-628-5357
- E-mail：seikei@mws.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.yu-orthop.jp/

# 山形大学産婦人科専門研修施設群専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

産婦人科専門医の資格は医学部卒業後5年、産婦人科研修開始3年で取得できます。専攻医は産婦人科専門医取得を目標に研修を行っています。大学附属病院及び関連病院において連携を取りながら、婦人科腫瘍・周産期・生殖内分泌・女性医学の四つの分野を柱として経験を積み重ねます。分娩・手術共に十分な症例があり、各サブスペシャリティの研修（婦人科疾患の診断及び手術、胎児診断や合併症妊娠を含む周産期管理、高度な生殖補助医療を含めた不妊治療、思春期から老年期までの女性の健康管理まで）が、幅広くかつ満遍なくできるようにプログラムを組んでいます。また、若手医師同士の知識の共有と向上のため、年一回産婦人科若手の会を、また内視鏡手術に関する研修会として、年に3～4回山形県産婦人科内視鏡の会を開催し、技術の研鑽を図っています。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形市立病院済生館
連携	社会福祉法人 恩賜財団済生会 山形済生病院	連携	置賜広域病院組合 公立置賜総合病院	連携	米沢市立病院
連携	日本赤十字社 仙台赤十字病院	連携	山形県立新庄病院	連携施設 (地域医療)	地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	大学附属病院：産科婦人科基本手技の習得						連携施設A：一般婦人科疾患診療、分娩管理					
2年目	連携施設A：一般婦人科疾患診療、分娩管理						連携施設B：一般婦人科疾患診療、分娩管理					
3年目	連携施設B：一般婦人科疾患診療、分娩管理						大学附属病院：浸潤癌、胎児診断、合併症妊娠周産期管理、生殖内分泌治療の習得					
4年目	産婦人科専門医認定試験を受験し、専門医を取得。希望により大学院入学。											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

周産期専門医（母胎・胎児）（日本周産期・新生児医学会認定）、婦人科腫瘍専門医（日本婦人科腫瘍学会認定）、生殖医療専門医（日本生殖医学会認定）、女性ヘルスケア専門医（日本女性医学学会認定）、内視鏡技術認定医（日本内視鏡外科学会認定）、臨床遺伝専門医（日本人類遺伝学会ほか認定）、細胞診専門医（日本臨床細胞学会認定）、腹腔鏡・子宮鏡技術認定医（日本産科婦人科内視鏡学会認定）、超音波専門医（日本超音波医学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：8名
- 応募期間：2023年度9月1日～（予定）
- 選考方法：採用試験および面接

## ●問合せ先

- 担当者：太田 剛
- TEL：023-628-5393（医局直通）/FAX：023-628-5396
- E-mail：oota-t@med.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://yamagata-obgy.com/（講座HP）



# 山形大学医学部附属病院眼科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。当プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

1. 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医。
2. 一般診療所、総合病院の眼科医としての技術を身につけ、地域で活躍できる眼科医。
3. 学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	公立置賜総合病院
連携	公立学校共済組合 東北中央病院				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹施設で眼科検査、診察の基礎、手術を上級医に学ぶ						基幹施設で主治医として、上級医と連携して診療にあたる					
2年目	一般研修施設で研修し、外来、手術を多く経験することで一般眼科医としての能力を向上させる											
3年目	一般研修施設で研修し、基幹施設の専門外来、研究へ参加する						基幹施設でサブスペシャリティを学び、大学院への入学も検討					
4年目	基幹施設でサブスペシャリティ診療能力の向上を図り、研究にも積極的に参加する											
5年目	専門医認定試験に向けて研修、受験						専門外来で責任をもって診療にあたり、その後のキャリア形成へ向けて進路を検討					

## ●取得可能なサブスペシャリティ

眼科専門医（基本領域・日本眼科学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：年間4名程度
- 応募期間：随時
- 選考方法：面談

## ●問合せ先

- 担当者：金子 優
- TEL：023-628-5374/FAX：023-628-5376
- E-mail：y-kaneko@med.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/Opt/index.html

# 山形大学医学部附属病院耳鼻咽喉科研修プログラム

## ●プログラムの特色

耳鼻咽喉科は「生きる」を支え、そして「命と機能」を守る診療科です。感覚器のエキスパートとして、コミュニケーション機能のエキスパートとして、そして摂食・嚥下のエキスパートとして人の生涯に寄り添います。取り扱う範囲や分野、疾患も多岐にわたり、外科的な治療も内科的な診療もできるのが大きな魅力であり、それに応じた幅広い高度な臨床能力が求められています。山形大学耳鼻咽喉科では、「オリジナルからスタンダードへ」「地域に根ざし世界のセンターへ」をモットーに臨床・研究・教育に励んでおります。当プログラムは、今後の医学の進歩に対応していくために必要な基礎的な知識・医療技術を習得するだけでなく、広く世界に視野を向けた専門医を育成することを目的としています。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形市立病院済生館
連携	山形県立新庄病院	連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院
連携	埼玉県立がんセンター	連携	国際医療福祉大学 東京ボイスセンター	連携	米沢市立病院
連携	東北中央病院	連携	九州大学病院	連携	東海大学病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	山形県立中央病院、山形市立病院済生館、山形県立新庄病院、日本海総合病院、公立置賜総合病院のいずれかで											
3年目	6～12か月単位の研修											
4年目	基本的には山形大学医学部附属病院において研修をおこなうが、研修目標の進捗状況を考慮し、3～6か月間の県外の関連研修施設での研修、3か月以内の海外、地域医療の研修の選択を可能とする											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

アレルギー専門医（日本アレルギー学会・日本専門医機構認定）のほか、気管食道科専門医（日本気管食道科学会認定）、頭頸部がん専門医（日本頭頸部外科学会認定）、耳科手術指導医（日本耳科学会認定）、鼻科手術指導医（日本鼻科学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：5名
- 応募期間：2023年度10月～12月
- 選考方法：書類審査および面接

## ●問合せ先

- 〒990-9585 山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 担当者：伊藤 史（准教授）、海藤由比（医局秘書）●TEL：023-628-5380/FAX：023-628-5382
- E-mail：jibika@mws.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.yamagata-u.umin.jp/ent/

# 山形大学医学部泌尿器科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

- ・教育施設であり、最先端医療技術の発信基地である大学病院での高度な医療の研修を行うことができる
- ・「蔵王協議会」により関連病院と有機的に結びついた研修を行うことができる
- ・勤務しながら大学院生として専門医取得のための研修や博士号取得のための研究を行うことができる（大学院進学コース）
- ・個々の希望に合わせたより高い臨床実施能力の獲得のための研修を行うことができる（臨床修練コース）
- ・奨学金取得者の地域医療の義務年限を考慮した研修を行うことができる（地域医療コース）



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形県立新庄病院
連携	山形市立病院済生館	連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院
連携	鶴岡市立荘内病院	連携	山形済生病院	連携	米沢市立病院
連携	みやぎ県南中核病院	連携	山形県立河北病院	連携	公立高畠病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院（基幹施設）での研修（基本的知識及び技能の習得）											
2年目	連携病院（診療拠点病院）での研修（基本的知識および技能の習得）											
3年目	連携病院での研修（病院の特色に合わせた専門的疾患に対する理解。地域医療の現状に関して理解を深める）											
4年目	山形大学医学部附属病院での研修（より高度な専門知識や技能の取得。学会発表、論文発表を通じた科学的探究心の涵養）											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

性機能学会専門医、小児泌尿器科認定医、排尿機能学会認定医、腎移植専門医、腎臓専門医、内分泌外科専門医、生殖医療専門医、超音波専門医、透析専門医 等

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：6名
- 応募期間：日本専門医機構ホームページをご参照ください
- 選考方法：面接

## ●問合せ先

- 担当者：土谷順彦
- TEL：023-628-5368/FAX：023-628-5370
- E-mail：ntsuchiya@med.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/Urology/

# 脳神経外科専門研修 山形大学医学部プログラム

## ●プログラムの特色

山形県内の脳神経外科疾患は腫瘍・血管障害・小児は山形大学、急性期脳卒中、頭部外傷は主に連携施設に集約化され治療されています。本プログラムは脳神経外科疾患をまんべんなく、かつ効率よく学ぶために、研修施設をローテートする循環型の研修プログラムを採用していることが大きな特徴です。専門医を取得するための十分な症例数を経験できるのももちろんのことですが、最新の機器を駆使した最先端の医療を学ぶことができます。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形市立病院済生館	連携	日本海総合病院
連携	公立置賜総合病院	連携	山形済生病院	連携	北村山公立病院
関連	山形県立新庄病院	関連	鶴岡市立荘内病院	関連	東北大学病院
関連	北里大学病院	関連	三友堂病院	関連	篠田総合病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	鶴岡市立荘内病院						山形市立病院済生館					
3年目	山形市立病院済生館						日本海総合病院					
4年目	山形県立新庄病院						東北大学病院					
5年目	山形大学医学部附属病院											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

脳血管内治療専門医（日本脳神経血管内治療学会認定）、脳卒中専門医（日本脳卒中学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：4名
- 応募期間：2023年度10月頃（予定）
- 選考方法：面接等

## ●問合せ先

- 担当者：松田憲一郎
- TEL：023-628-5349/FAX：023-628-5351
- E-mail：matsuk@med.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/NeuroSurge/NeuroS-j.html



# 山形大学医学部附属病院放射線科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

放射線診断専門医または放射線治療専門医の育成の前段階として、放射線診断専門医および放射線治療専門医のいずれにも求められる放射線科全般に及ぶ知識と経験を一定レベル以上に有する「放射線科専門医」を育成することを目的としています。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形県立新庄病院
連携	公立置賜総合病院	連携	鶴岡市立荘内病院	連携	東北中央病院
連携	日本海総合病院	連携	米沢市立病院	連携	山形市立病院済生館
連携	山形済生病院	連携	脳神経疾患研究所附属 南東北病院	連携	放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	放射線診断（大学病院 CT、MRI、核医学、PET、IVR）						放射線治療（大学病院）					
2年目	連携施設で放射線診断・治療の研修											
3年目	山形大学医学部附属病院での放射線診断・治療の研修											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

放射線診断専門医、放射線治療専門医（日本医学放射線学会・日本専門医機構認定）のほか、核医学専門医（日本核医学会認定）、IVR 専門医（日本 IVR 学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：10名
- 応募期間：2023年度9月頃（予定）
- 選考方法：書類審査および面接

## ●問合せ先

- 担当者：桐井一邦
- TEL：023-628-5386/FAX：023-628-5389 ●E-mail：radiyamagata@mws.id.yamagata-u.ac.jp
- 山形大学医学部放射線医学講座HP：http://main.radonco-yamagata-u.jp/

# 山形大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

- ・麻酔科専門研修のみならず、サブスペシャリティ領域の研修や、学位取得などの学術活動への支援を行い、付加価値の高い麻酔科専門医の育成を目指しています。
- ・幅広い知識・技能とともに優れたコミュニケーション能力を有し、リーダーシップがとれる人材の育成を目指しています。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
連携	山形県立新庄病院	連携	鶴岡市立荘内病院	連携	山形市立病院済生館
連携	東北中央病院	連携	済生会山形済生病院	連携	宮城県立こども病院
連携	米沢市立病院	連携	公立置賜総合病院	連携	東京医科大学病院
連携	北海道大学病院	連携	札幌医科大学附属病院		

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	手術麻酔に必要な手技と知識を修得し、上級医の指導のもと、リスクのない症例の定時手術の周術期管理を行うことができる。											
2年目	上級医の指導のもと、全身状態の悪い症例や緊急手術症例の周術期管理を行うことができる。											
3年目	上級医の指導のもと、心臓外科手術、胸部外科手術、脳神経外科手術、帝王切開手術、小児手術など、特殊症例の周術期管理を行うことができる。また、ペインクリニック、集中治療など関連領域の知識・技能を修得する。											
4年目	3年目の経験をさらに発展させ、さまざまな症例の周術期管理を行うことができる。難易度の高い症例、緊急症例などは上級医の指導を受けるが、リスクのない症例は単独で周術期管理が行える。											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

集中治療専門医（日本集中治療医学会認定）、ペインクリニック専門医（日本ペインクリニック学会認定）、緩和医療専門医（日本緩和医療学会認定）、日本心臓血管麻酔専門医（日本心臓血管麻酔学会認定）、呼吸療法専門医（日本呼吸療法医学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：5名
- 応募期間：2023.10.1より（予定）
- 選考方法：書類審査、面接

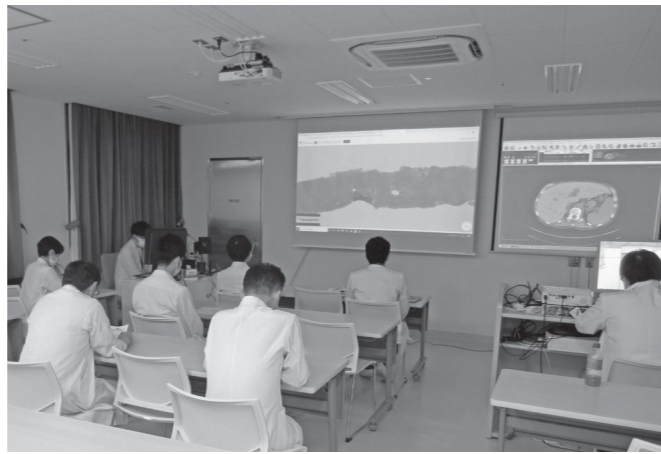
## ●問合せ先

- 担当者：岡田真行
- TEL：(023)628-5400/FAX：(023)628-5402
- E-mail：masuikayamagata@gmail.com/HP：http://www.anesth-yamagata-u.com/

# 山形県・山形大学医学部病理専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

- ①山形県内の主要な病院が全て参加し、県内病理医の総力を結集したプログラムです。
- ②病理医として成長していくための環境を整備しています。病理専門医になる為の豊富な症例（剖検を含む）、領域に精通した指導医、多くの診療科との臨床病理カンファランスを整えています。また、テレパソロジーの活用と学生表彰受賞者輩出の実績を元に病理学会総会などへの積極的な参加と論文執筆を推進します。
- ③当院は「がんゲノム医療拠点病院」に認定されており、エキスパートパネルと呼ばれる専門家会議に参加可能です。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	日本海総合病院	連携	鶴岡協立病院
連携	山形県立河北病院	連携	山形市立病院済生館	連携	公立置賜総合病院
連携	山形県立中央病院	連携	鶴岡市立荘内病院	連携	山形県立新庄病院
連携	済生会山形済生病院	連携	米沢市立病院	連携	三友堂病院
連携	北村山公立病院				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	初期研修：山形大学医学部附属病院および関連病院											
2年目	初期研修：山形大学医学部附属病院および関連病院											
3年目	後期研修：基幹施設+連携施設2群・3群（週1日）											
4年目	後期研修：山形県立中央病院 [大学院進学の場合には+基幹施設（週1～2日）]											
5年目	後期研修：基幹施設+連携施設2群・3群（週1日）											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

細胞診専門医（日本臨床細胞学会認定）

分子病理専門医（日本病理学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：2名
- 応募期間：初期研修の後半（2023年10月頃～）
- 選考方法：書類審査と面接など

## ●問合せ先

- 担当者：大江倫太郎
- TEL：023-628-5238/FAX：023-628-5240
- E-mail：r-ooe@med.id.yamagata-u.ac.jp

# やまがた未来志向型救急医養成専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

重症度に応じて迅速かつ安全に急性期疾患の診断治療が進められる標準的救急医をめざし、急性期診療はもちろんのこと、病院前から地域医療連携並びに災害時救援活動にも関し研鑽を積んでいくプログラムです。山形県内のすべての救命救急センター・地域中核病院と連携しているだけでなく、先進的な救命医療を学べる山形県外の救命救急センターとも多く連携しており、専攻医のニーズに応じた研修を組むことが可能です。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	公立置賜総合病院
連携	日本海総合病院	連携	東北大学病院（宮城県）	連携	山口大学医学部附属病院
連携	岐阜大学医学部附属病院	連携	会津中央病院（福島県）	連携	福山市民病院（広島県）
連携	市立札幌病院（北海道）	関連	山形市立病院済生館	関連	山形県立新庄病院
関連	北村山公立病院	関連	米沢市立病院	関連	鶴岡市立荘内病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹施設（12ヶ月以上：6ヶ月×2、2・3年目も可）											
2年目	連携施設、関連施設（1施設3ヶ月または6ヶ月を自由に組み合わせて合計24ヶ月以内）											
3年目												

※専門医試験 4年目に受験可能

## ●取得可能なサブスペシャリティ

集中治療専門医（日本集中治療医学会認定）、熱傷専門医（日本熱傷学会認定）、外傷専門医（日本外傷学会認定）、

麻酔科専門医（基本領域・日本麻酔科学会認定）、呼吸療法専門医（日本呼吸療法医学会認定）ほか

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規定又は国立大学法人山形大学職員給与規定による地域基幹病院への診療応援による収入あり
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：4名（12名/3年）
- 応募期間：日本専門医機構ホームページをご参照ください
- 選考方法：面接（応募者多数の場合は試験有り）

## ●問合せ先

- 担当者：中根正樹
- TEL：023(628)5422/FAX：023(628)5423
- E-mail：qqc@mws1.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/QQ-IGAKU/QQ/



# 山形大学形成外科研修プログラム

## ●プログラムの特色

山形大学は大学病院でありながら地域の中核病院としての役割を担っているため、全ての疾患群について学ぶことができます。中でも、先天異常、悪性腫瘍切除後の即時再建、熱傷の急性期治療および瘢痕・瘢痕拘縮に対する治療、レーザー治療を多く学ぶことができ、連携施設では特に外傷、腫瘍、難治性潰瘍などを多く学ぶことができます。双方で研修することによりそれぞれの特徴を生かした症例や技能を広く学ぶことができます。また、栃木県の獨協医科大学病院とは基幹施設でありながら、双方の合意のもと、山形大学形成外科の連携研修施設としても登録がなされています。こちらは北関東最大規模の特定機能病院としてドクターヘリも導入して臨床の最前線を担っており、首都圏の大学病院とは違った総合的な形成外科治療を習得できる大学病院です。小耳症・外耳道閉鎖に対する形態と機能の再建や、顔面神経麻痺に対する総合的整形外科治療、再生医療を視野に入れた抗加齢外科を目指す美容外科治療など、形成外科の中でも専門性の高い分野について学ぶことができます。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院
連携	獨協医科大学病院				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	山形大学医学部附属病院											
2年次	公立置賜総合病院											
3年次	日本海総合病院											
4年次	獨協医科大学病院											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

形成外科領域専門医（日本形成外科学会・日本専門医機構認定）、熱傷専門医（日本熱傷学会認定）、手外科専門医（日本手外科学会認定）、日本創傷外科学会専門医（日本創傷外科学会認定）、形成外科指導医（日本形成外科学会認定）、小児形成外科領域指導医（日本形成外科学会認定）、再建・マイクロサージャリー領域指導医（日本形成外科学会）、レーザー領域指導医（日本形成外科学会）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：初期研修2年目を修了した、あるいは終了見込みの者
- 募集定員：1学年あたり3名
- 応募期間：2023年8月1日～2023年10月30日
- 選考方法：書類、面接

## ●問合せ先

- 担当者：形成外科 福田憲翁（ふくだのりお）
- TEL：023-628-5413/FAX：023-628-5416
- E-mail：prs@mws1.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.yamagata-u.net/

# 山形県リハビリテーション科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

リハビリテーション医学・医療の視点から、様々な疾患によって生じる障害を予防、診断、治療し、身体の機能回復、活動性の向上を通して、患者・障害者の社会復帰を助ける医師をめざします。本研修プログラムは山形大学医学部附属病院を中心に、県内のそれぞれ特色あるリハビリテーション施設・病院をローテーションしながら、リハビリテーション科専門医に求められる知識と臨床技能、診療姿勢、倫理を学ぶことができます。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	至誠堂総合病院	連携	山形市立病院済生館
連携	三友堂 リハビリテーションセンター	連携	鶴岡協立 リハビリテーション病院	連携	済生会山形済生病院
関連施設	山形県立河北病院	関連施設	山形県立 こども医療療育センター	関連施設	山形徳洲会病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	連携病院（例：至誠堂総合病院）									連携病院（例：療育センター）		
3年目	関連病院（例：河北病院）			山形大学医学部附属病院								

## ●取得可能なサブスペシャリティ

リハビリテーション科専門医（基本領域・日本リハビリテーション医学会認定）、日本リハビリテーション学会認定医（日本リハビリテーション医学会認定）、急性期リハビリテーション学会認定医（予定）（日本急性期リハビリテーション医学会認定）、回復期リハビリテーション学会認定医（予定）（回復期リハビリテーション病棟協会認定）、生活期リハビリテーション学会認定医（予定）（日本生活期リハビリテーション医学会認定）

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：3名
- 応募期間：2023年9月から10月末（予定）
- 選考方法：書類選考及び面接

## ●問合せ先

- 担当者：高窪祐弥（山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 副部長）
- TEL：023-628-5355/FAX：023-628-5357
- E-mail：seikei@mws1.id.yamagata-u.ac.jp/HP：https://www1.id.yamagata-u.ac.jp/MIDINFO/clinics/department/rhb\_a.html

# 山形大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

本研修プログラムでは、総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）、内科、小児科、救急科の5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。このことにより 1. 包括的統合アプローチ 2. 一般的な健康問題に対する診療能力 3. 患者中心の医療・ケア 4. 連携重視のマネジメント 5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ 6. 公益に資する職業規範 7. 多様な診療の場に対応する能力 という総合診療専門医に欠かせない7つの資質・能力を効果的に修得することが可能になります。また、基幹施設と連携施設の施設群で行われ、それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことが出来ます。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立河北病院	連携	山形県立新庄病院
連携	公立置賜総合病院	連携	米沢市立病院	連携	小国町立病院
連携	白鷹町立病院	連携	舟山病院		

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院（内科）											
2年目	山形大学医学部附属病院（救急科・小児科）						河北病院、新庄病院、公立置賜総合病院、米沢市立病院のいずれか					
3年目	小国町立病院、白鷹町立病院、舟山病院のいずれか											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

なし

## ●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施  
・入居可能住宅有り  
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用  
・労働者災害補償保険適用

## ●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：年間2名
- 応募期間：日本専門医機構ホームページ参照
- 選考方法：書類選考および面接

## ●問合せ先

- 担当者：山形大学医学部附属病院卒後臨床研修センター
- TEL：023-628-5017/FAX：023-628-5019
- E-mail：yu-sotsugo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/kenshu/

# 山形県立中央病院内科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

山形県村山二次医療圏の中心的な急性期病院である山形県立中央病院を基幹施設として、山形県村山二次医療圏、近隣医療圏にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を経て山形県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として山形県全域を支える内科専門医の育成を行います。

また、山形大学、東北大学及び新潟大学の附属病院との連携による高度な総合内科医を目指すことや、地域枠出身者や自治医大出身者など、何らかの義務年限で地域医療へ貢献を行うことを想定した特別連携施設を有するなど、複数のコース別に研修を行うことが可能です。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立中央病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	東北大学病院
連携	新潟大学医歯学総合病院	連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院
連携	山形県立新庄病院	連携	山形県立河北病院	連携	至誠堂総合病院
連携	仙台医療センター	連携	大阪公立大学医学部附属病院	連携	山形市立病院済生館
特別連携	最上町立最上病院	特別連携	西川町立病院	特別連携	朝日町立病院
特別連携	町立真室川病院	特別連携	小国町立病院	特別連携	白鷹町立病院
特別連携	日本海八幡クリニック	特別連携	町立金山診療所	特別連携	大蔵村診療所

## ●専門研修ローテーションモデル

### ①総合内科コース

1年目	県立中央病院（20症候群、60症例以上及び病歴要約10症例以上の登録、JMECCの受講）
2年目	県立中央病院（45症候群、120症例以上及び病歴要約29症例の全てを登録）
3年目	連携施設・特別連携施設（70症候群、200症例以上の登録、登録した病歴要約の改訂）

### ②Subspecialty重点コース

1年目	連携施設・特別連携施設（20症候群、60症例以上及び病歴要約10症例以上の登録）
2年目	連携施設・特別連携施設/県立中央病院6ヶ月（45症候群、120症例以上及び病歴要約29症例の全てを登録、JEMCCの受講）
3年目	県立中央病院（70症候群、200症例以上の登録、登録した病歴要約の改訂）

### ③地域医療重点コース

1年目	連携施設・特別連携施設（20症候群、60症例以上及び病歴要約10症例以上の登録）
2年目	県立中央病院（45症候群、120症例以上及び病歴要約29症例の全てを登録、JEMCCの受講）
3年目	連携施設・特別連携施設（70症候群、200症例以上の登録、登録した病歴要約の改訂）

●①、②、③は例で、ローテーション順や連携施設等への派遣期間は、担当指導医と相談しながら決定していきます

## ●取得可能なサブスペシャリティ

消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝、糖尿病、肝臓、感染症、神経内科、消化器内視鏡、がん薬物療法（腎臓、アレルギー、リウマチは取れません）

## ●処遇 ※県立中央病院勤務の場合

- 身分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1260万円～（宿日直3回/月、時間外勤務40時間/月、期末勤勉手当を含む）
- 福利厚生：1年間に20日（4月採用の場合は15日）の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

## ●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和6年3月に初期研修修了見込みの者
- 募集定員：8名
- 選考方法：面接

## ●問合せ先

- 担当者：総務課 志田国伸
- TEL：023-685-2626/FAX：023-685-2601
- E-mail：ychubyo@pref.yamagata.jp/HP：https://www.ypch.gr.jp/



# 山形県立中央病院外科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

山形県立中央病院外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の5点です。

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェSSIONALとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺や内分泌領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること



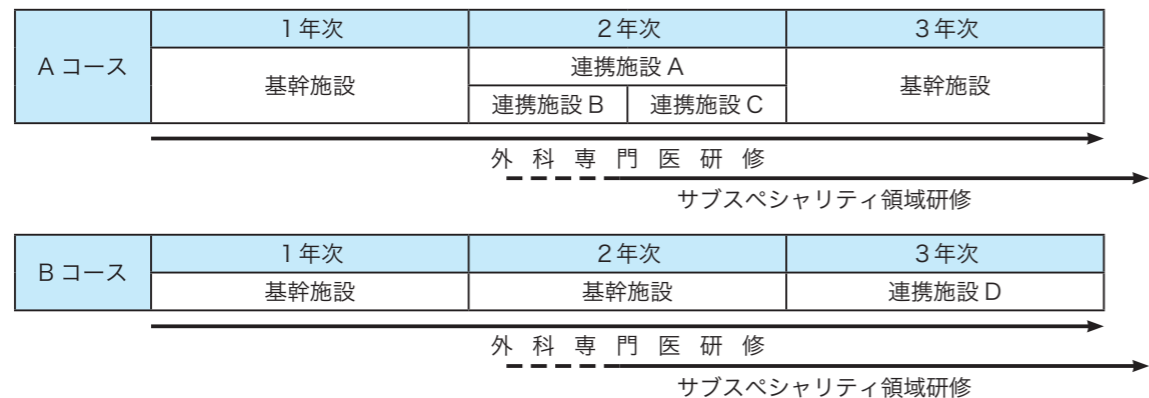
## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立中央病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	東北大学病院
連携	山形県立新庄病院	連携	山形県立河北病院	連携	日本海総合病院
連携	仙台オープン病院				

## ●専門研修ローテーションモデル

いずれのコースも基幹施設で専門研修を開始します。Aコースは2年目に関連施設を1年、あるいは半年ずつ2カ所です研修します。Bコースは最初の2年間で基幹施設で研修し、3年目に関連施設で研修します。

2年間で経験症例が達成（もしくは見込み）できていれば、3年目にはサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）あるいは外科関連領域（乳腺など）の専門研修を開始します。



## ●取得可能なサブスペシャルティ

消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科

## ●処遇 ※県立中央病院勤務の場合

- 身分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1260万円～（宿日直3回/月、時間外勤務40時間/月、期末勤勉手当を含む）
- 福利厚生：1年間に20日（4月採用の場合は15日）の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

## ●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和6年3月に初期研修修了見込の者
- 募集定員：3名
- 選考方法：面接

## ●問合せ先

- 担当者：総務課 志田国伸
- TEL：023-685-2626/FAX：023-685-2601
- E-mail：ychubyo@pref.yamagata.jp/HP：https://www.ypch.gr.jp/

# 山形県立中央病院麻酔科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

本研修プログラムは、麻酔科専門医取得のために経験が必須とされている「6才未満の小児手術・帝王切開術・心臓血管外科手術・分離肺換気を要する胸部外科手術、脳神経外科手術」症例のすべてを研修できる、山形県の地域中核病院での麻酔科研修が特徴である。

また、当院はがん拠点病院であるほか、山形県総合周産期母子医療センター（MFICU/NICU/GCU）・救命救急センターを併設している。したがって、上記症例に限らず、予定手術・緊急手術の別なく、豊富な種類の手術症例の麻酔管理の研修が可能である。

本院での麻酔科研修では、今後ますます重要性が増す救急・外傷患者の集中治療、産科麻酔管理に加えて周産期管理なども研修できる。これら、救急・集中治療・周産期医療については、一定の期間それぞれの専従医の指導を受けることが出来る。また、この研修期間では、対象患者の入院から手術、術後集中治療管理にいたるまで、一貫して経験することも可能である。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立中央病院	連携 A	山形県立新庄病院	連携 B	山形大学医学部附属病院
連携 B	東北大学病院				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	麻酔科											
2年目	麻酔科											
3年目	集中治療											
4年目	連携病院 A・B（麻酔科）											

## ●取得可能なサブスペシャルティ

集中治療専門医（日本集中治療医学会認定）

## ●処遇 ※県立中央病院勤務の場合

- 身分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1260万円～（宿日直3回/月、時間外勤務40時間/月、期末勤勉手当含む）
- 福利厚生：1年間に20日（4月採用の場合は15日）の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

## ●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和6年3月に初期研修修了見込の者
- 募集定員：5名
- 選考方法：面接

## ●問合せ先

- 担当者：総務課 志田国伸
- TEL：023-685-2626/FAX：023-685-2601
- E-mail：ychubyo@pref.yamagata.jp/HP：https://www.ypch.gr.jp/

# 山形県立中央病院救急科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

研修の基幹施設である当院（山形県立中央病院）は、ドクターヘリの基地病院であり、また集中治療専門医研修施設でもあります。救急科所属医師12人中、救急科専門医6名をはじめ、集中治療専門医、日本航空医療学会認定指導者、熱傷学会専門医、整形外科専門医、麻酔科専門医がおり、ドクターヘリでの病院前診療から、救命救急センターの初療を経て、集中治療を含む病棟管理まで幅広く担当しています。本専門研修プログラムは、各専攻医の希望と習熟度を考慮し、基幹施設・連携施設のいずれからの研修も開始可能です。基幹領域専門医として救急科専門医取得後は、サブスペシャリティ領域である集中治療医学領域専門研修プログラムに進むことも可能です。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立中央病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	日本海総合病院
連携	公立置賜総合病院	連携	山形県立新庄病院	連携	鶴岡市立荘内病院

## ●専門研修ローテーションモデル

救急診療・集中治療(6ヵ月)  
〈基幹施設or連携施設〉

救急診療・他科研修(6ヵ月)  
〈連携施設or基幹施設〉

救急診療・集中治療・ドクターヘリ(12ヵ月)  
〈基幹施設〉

集中治療室専従(6ヵ月)  
〈基幹施設〉

地域研修(3ヵ月)  
〈連携施設〉

地域研修(3ヵ月)  
〈連携施設〉

自由度の高いプログラムを組む事ができるように配慮しております。  
また、基幹施設と連携施設のいずれからでも研修をスタートすることができます。遠慮なくご相談ください。

## ●取得可能なサブスペシャリティ

(救急科専門医取得後) 集中治療専門医

## ●処遇 ※県立中央病院勤務の場合

- 身分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1260万円～(宿日直3回/月、時間外勤務40時間/月、期末勤勉手当を含む)
- 福利厚生：1年間に20日(4月採用の場合は15日)の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

## ●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和6年3月に初期研修修了見込みの者
- 募集定員：3名
- 選考方法：面接

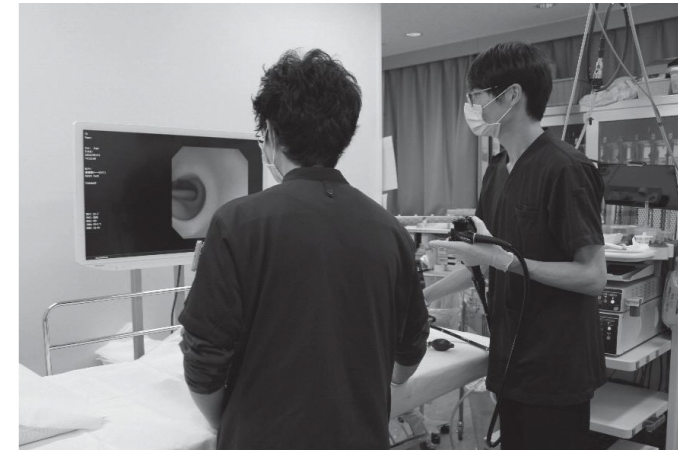
## ●問合せ先

- 担当者：総務課 志田国伸
- TEL：023-685-2626/FAX：023-685-2601
- E-mail：ychubyo@pref.yamagata.jp/HP：https://www.ypch.gr.jp/

# 山形市立病院済生館内科専門研修プログラム ※令和5年度プログラム新規申請中

## ●プログラムの特色

- ・山形県村山二次医療圏の中心的な急性期病院である当院を基幹施設とし、村山二次医療圏・近隣医療圏並びに宮城県にある連携施設とで内科専門研修を経て地域の医療事情を理解し、実情に合わせた実践的な医療を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。
- ・入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医の育成を行います。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形市立病院済生館	連携	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院
連携	日本海総合病院	連携	鶴岡市立荘内病院	連携	公立置賜総合病院
連携	米沢市立病院	連携	東北大学病院	連携	仙台市立病院
連携	大崎市民病院	連携	国立病院機構仙台医療センター		

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形市立病院済生館または連携施設											
2年目	山形市立病院済生館または連携施設											
3年目	山形市立病院済生館または連携施設											

※基幹施設(山形市立病院済生館)で1～2年間、連携施設で1～2年間の研修を行います。各年次のローテーションや研修医療機関は、専攻医と面談の上決定します。

## ●取得可能なサブスペシャリティ

消化器病専門医、循環器専門医、呼吸器専門医、血液専門医、内分泌代謝科専門医、糖尿病専門医、腎臓専門医、肝臓専門医、神経内科専門医、消化器内視鏡専門医

## ●処遇 ※山形市立病院済生館勤務の場合

- 身分：任期付常勤職員
- 給与：月額約680,000円(賞与別途支給、手当は含まない) 賞与、諸手当等あり ※年間概算支給額 約1,300万円～
- 福利厚生：年次有給休暇(20日)その他特別休暇等あり

## ●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和6年3月に初期研修修了見込みの者
- 募集定員：8名
- 応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準じる
- 選考方法：書類選考・面接

## ●問合せ先

- 担当者：黒木実智雄
- TEL：023-625-5555/FAX：023-642-5080
- E-mail：m-kuroki@saiseikan.jp/HP：http://www.saiseikan.jp/



# 済生会山形済生病院整形外科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

整形外科専門研修到達目標：「地域医療に貢献できる幅広い知識と視野をもった整形外科医を目指して」

当院では、1980年創立以来、整形外科全域にわたる研究・教育・診療体制が整備されています。脊椎、股関節、膝関節、スポーツ医学、上肢、手外科、足の外科、小児整形外科、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療、診療グループがあり、臨床・研究を進めています。

山形大学医学部整形外科をはじめ、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、リハビリテーションなど、それぞれに特色を持った山形県、宮城県、福島県の18の施設・病院と連携し、機能的なローテーションにより、プライマリケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことができます。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	済生会山形済生病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院
連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院	連携	山形県立新庄病院
連携	山形県立河北病院	連携	山形県立こども医療養育センター	連携	寒河江市立病院
連携	町立真室川病院	連携	公立高畠病院	連携	三友堂病院
連携	みゆき会病院	連携	吉岡病院	連携	泉整形外科病院
連携	栞記念病院	連携	至誠堂総合病院	連携	北村山公立病院
連携	米沢市立病院				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	済生会山形済生病院											
2年目	山形大学医学部附属病院・公立置賜総合病院など											
3年目	山形大学医学部附属病院・日本海総合病院など											
4年目	山形県立中央病院、県立河北病院など						みゆき会病院、寒河江市立病院など					
5年目	済生会山形済生病院など											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

リウマチ専門医（日本リウマチ学会・日本専門医機構）、脊椎脊髄外科専門医（日本脊椎脊髄学会認定）、手外科専門医（日本手外科学会認定）、日整会認定リウマチ医（日本整形外科学会認定）、日整会認定スポーツ医（日本整形外科学会認定）、日整会認定脊椎脊髄病医（日本整形外科学会認定）、日整会認定脊椎内視鏡下手術・技術認定医（日本整形外科学会認定）、日整会認定運動器リハビリテーション医（日本整形外科学会認定）、リハビリテーション専門医（日本リハビリテーション学会認定）

### ●処遇 ※済生病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：800,000円（月額）
- 福利厚生：協会健保、厚生年金、労災保険、雇用保険

### ●専攻医募集

- 応募資格：初期研修を修了した医師
- 募集定員：2名
- 応募期間：令和5年8月1日～10月31日
- 選考方法：書類審査、面接

## ●問合せ先

- 担当者：人事課（医局秘書）足立和子
- TEL：023-682-1111/FAX：023-682-0122
- E-mail：rin-ken@ameria.org/HP：http://www.ameria.org/

# さくらんぼ総合診療専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

当院は、山形市中心部の山形城址（霞城公園）と美術館に隣接した美しい自然環境と文化施設に恵まれた場所に位置しています。大学病院をはじめとする総合病院に囲まれながら、一貫して地域医療・高齢者医療に取り組んできました。山形県の訪問看護ステーション第1号を開設し、訪問診療と併せて在宅医療にも積極的に取り組んでおります。住民健診など保健予防活動の歴史も長く、法人内には3つの診療所、老人保健施設、地域包括支援センターなど、医療・介護の複合型の施設を展開しており、これら全てが研修の場ともなります。小児から高齢者まで家族ぐるみの健康管理を行い、家庭医療を学ぶには最適な施設体系を有しています。また、当院は日本内科学会教育関連病院として認定され、3名の指導医が研修指導に携わっています。当院の医局は毎日の医局朝会・週1回の医局会議・学習会など各科の医師の連携も良いです。整形外科系の研修もバランスよく組み込むことも可能であり、救急は二次救急で一定の救急の経験が可能となっています。小児科・救急科は、山形市内に位置する高度急性期基幹病院であり専門研修連携施設の山形県立中央病院（県立救命救急センター）で小児を含む全科の救急・小児疾患を幅広く経験できます。

その他、無料低額診療事業を実施し、差額ベッドが無いなど弱者に寄り添った医療実践を行っていることが特徴として挙げられます。地域包括ケア時代、地域をフィールドに住民の健康を守る医療介護福祉活動を推進できる医師養成を目指しております。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	至誠堂総合病院	連携	至誠堂総合病院附属中山診療所	連携	医療生協やまがた鶴岡協立病院
連携	山形県立中央病院	連携	宮城厚生協会 坂総合病院	連携	松島医療生協松島海岸診療所
連携	社会医療法人二本松会 山形さくら町病院	連携	医療法人社団健友会 本間病院		

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期研修 1年目	至誠堂総合病院 内科											
後期研修 2年目	至誠堂総合病院 総合診療専門研修Ⅱ						山形県立中央病院 または坂総合病院 小児科			山形県立中央病院 または坂総合病院 救急科		
後期研修 3年目	至誠堂総合病院 総合診療専門研修Ⅱ						中山診療所または鶴岡協立病院 または松島海岸診療所または本間病院 総合診療専門研修Ⅰ					

※初期研修で外科研修が不十分であった専攻医は外科領域の研修を含むことが望ましいこと、また精神科等の領域別研修を希望するなど、専攻医の個々の事情や希望に沿って研修計画を組む必要がある場合は、日本専門医機構の承認のもと研修期間等を調整する場合があります。

## ●取得可能なサブスペシャリティ

なし

### ●処遇 ※至誠堂総合病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：年収約1,100万円～（宿日直手当、住宅手当等含む）
- 福利厚生：社会保険等、医師賠償保険（病院において加入）  
年次有給休暇の他、年間5日のリフレッシュ休暇等

### ●専攻医募集

- 応募資格：臨床研修修了者または修了見込み者
- 募集定員：2名
- 応募期間：日本専門医機構募集期間に準ずる
- 選考方法：書類審査、面接

## ●問合せ先

- 担当者：医局事務 渡辺正巳
- TEL：023-622-7181/FAX：023-642-8101
- E-mail：ikyokujimu@shiseido-hp.jp/HP：http://www.shiseido-hp.jp/

# 山形県立河北病院総合診療専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

総合診療医が複数人体制で勤務している環境で学ぶことができます。実践だけでなく、日々の振り返りや週1回のチームカンファレンスを通じて自らの学びを内省して次に活かせるような研修を心がけていく予定です。

興味のある方は、ぜひ一度見学にいらしてください。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立河北病院	連携	公立置賜総合病院	連携	朝日町立病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科：県立河北病院 内科（総合診療）1年間											
2年目	小児科・救急：公立置賜総合病院3ヶ月ずつ、総診Ⅱ：県立河北病院もしくは公立置賜総合病院6ヶ月											
3年目	総診Ⅰ：朝日町立病院 1年間											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

新家庭医療専門医・病院総合診療専門医・地域総合診療専門医が取得できるよう、準備中です。

## ●処遇 ※県立河北病院勤務の場合

- 身分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1,260万円～（宿日直3回/月、時間外勤務40時間/月、期末勤勉手当を含む）
- 福利厚生：1年間に20日（4月採用の場合は15日）の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

## ●専攻医募集

- 応募資格：医師臨床研修を修了した（又は修了予定の）者
- 募集定員：2名
- 応募期間：別途お知らせします。
- 選考方法：面接

## ●問合せ先

- 担当者：総務課 運営管理担当 若木
- TEL：0237-73-3131/FAX：0237-73-4506
- E-mail：ykabyo@pref.yamagata.jp/HP：https://kahoku-hospital.jp/

# 山形県立新庄病院総合診療専門医研修プログラム

## ●プログラムの特色

当院は最上二次医療圏で唯一の中核病院となっており、幅広い世代を含む外来・入院診療および地域包括ケアの研修が可能です。

また、内科系患者の多くは複数の慢性疾患を有し専門的治療の介入が困難な高齢者であり、高齢化の進行した最上地方では、慢性疾患患者への継続的ケアが一層必要となっています。このような地域ニーズに応える医師の育成を目指します。

さらに、近隣の町・村の連携施設においては、在宅医療や保健・福祉分野との連携など、地域包括ケアの実態を学ぶことが可能です。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立新庄病院	連携	山形県立中央病院	連携	町立真室川病院
連携	最上町立最上病院	連携	町立金山診療所	連携	大蔵村診療所

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総診Ⅱ（新庄病院・3か月） 内科（新庄病院・9か月）											
2年目	内科（新庄病院・3か月） 救急科（山形県立中央病院・3か月） 総診Ⅰまたは総診Ⅱ（6か月）											
3年目	総診Ⅰ（最上地域の連携機関・6か月） 小児科（新庄病院・3か月） 総診Ⅱ（新庄病院・3か月）											

## ●取得可能なサブスペシャリティ

なし

## ●処遇 ※県立新庄病院勤務の場合

- 身分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給与：正職員に準じ支給  
扶養手当、住居手当、通勤手当、期末勤勉手当等支給  
年収約1,350万円～
- 福利厚生：休暇は一般職に準じる  
社会保険加入、医師賠償保険加入  
医師アパート有

## ●専攻医募集

- 応募資格：医師臨床研修を修了した（または修了予定の）者
- 募集定員：2名
- 応募期間：別途お知らせします。
- 選考方法：面接

## ●問合せ先

- 担当者：総務課 臨床研修係 庄司
- TEL：0233-22-5525/FAX：0233-23-2987
- E-mail：shojitair@pref.yamagata.jp/HP：http://www.ysh.pref.yamagata.jp/



# 公立置賜総合病院総合診療専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

本研修PGでは、「患者中心の地域包括ケアの達人をめざして！」をスローガンに掲げ、全人的、包括的な医療を実施できる医療人の育成を行います。優れた総合診療専門医を養成する研修プログラムは、さまざまなシチュエーションが経験でき、幅広い領域をまんべんなく研修できるようにコーディネートされたものである必要があります。総合診療科での外来・入院診療、サテライト施設や近隣の診療所・中小病院、各専門診療科では、日常疾患の初期診療から高度化・専門分化したそれぞれの最先端の医療を、患者に寄り添いながら地域の特性や問題点の把握などを実践し自ら考えて自ら行動する医療を実践します。高いレベルの臨床能力を備えた総合診療専門医を本気で養成します。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	公立置賜総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院
連携	山形県立河北病院	連携	最上町立最上病院	連携	真室川町立真室川病院
連携	小国町立病院	連携	西川町立病院	連携	朝日町立病院
連携	白鷹町立病院	連携	公立高島病院	連携	大蔵村診療所
連携	生協浮間診療所	連携	多摩北部医療センター	連携	公立置賜南陽病院

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	公立置賜総合病院											
	小児科			内科						救急科		
2年目	公立置賜総合病院						公立置賜総合病院					
	内科						総合診療研修Ⅱ					
3年目	朝日町立病院											
	総合診療研修Ⅰ											

## ●処遇 ※公立置賜総合病院勤務の場合

- 身分：一般職員
- 給与：「置賜広域病院企業団の給与の種類及び基準に関する条例」による
- 福利厚生：共済組合に加入(保険、年金等)  
公務災害補償、院内保育所、公舎あり

## ●専攻医募集

- 応募資格：医師臨床研修を令和6年3月末に修了予定の医師
- 募集定員：2名
- 応募期間：9月30日まで(予定)
- 選考方法：書類選考及び面接

## ●問合せ先

- 担当者：総務課 職員係
- TEL：0238-46-5000/FAX：0238-46-5711
- E-mail：shokuin@okitama-hp.or.jp/HP：http://www.okitama-hp.or.jp/

# 日本海総合病院内科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

当院は山形県庄内医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核であります。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所・クリニック(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験できます。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	日本海総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	東北大学病院
連携	秋田大学医学部附属病院	連携	福島県立医科大学附属病院	連携	東京大学医学部附属病院
連携	国立国際医療研究センター病院	連携	仙台厚生病院	連携	大阪医科薬科大学病院
連携	北摂総合病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形県立新庄病院
連携	公立置賜総合病院	連携	鶴岡市立荘内病院	連携	健友会本間病院
連携	日本海酒田リハビリテーション病院	連携	酒井醫院	連携	ほんまクリニック
特別連携	鶴岡協立病院	特別連携	日本海八幡クリニック	特別連携	朝日町立病院
特別連携	西川町立病院	特別連携	最上町立最上病院	特別連携	町立真室川病院
特別連携	白鷹町立病院	特別連携	小国町立病院	特別連携	町立金山診療所
特別連携	大蔵村診療所	特別連携	岡田内科循環器科クリニック	連携(申請中)	榊原記念病院
連携(申請中)	山形市立病院済生館	連携(申請中)	けいゆう病院		

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院(呼吸器内科)		日本海総合病院(血液内科)		日本海総合病院(神経内科)		日本海総合病院(循環器内科)					
2年目	日本海総合病院(循環器内科)											
3年目	連携施設											

※ローテーション順や連携施設等への派遣期間については、担当指導医と相談して決定しております。

## ●処遇 ※日本海総合病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：【卒後3年目】基本月額349,700円+医務手当等425,000円  
【卒後4年目】基本月額358,700円+医務手当等425,000円  
【卒後5年目】基本月額384,300円+医務手当等445,000円
- 福利厚生：・赴任費用(引越費用：上限有)支給  
・個人用机とキャビネットを医局内に配置  
・世帯用宿舍あり。単身者には、住宅補助制度あり

## ●専攻医募集

- 応募資格：医師免許取得後、厚生労働省が定める2年間の初期臨床研修を修了した者、あるいは令和6年3月末までに修了見込みの者
- 募集定員：10名
- 応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準ずる
- 選考方法：面接及び書類選考

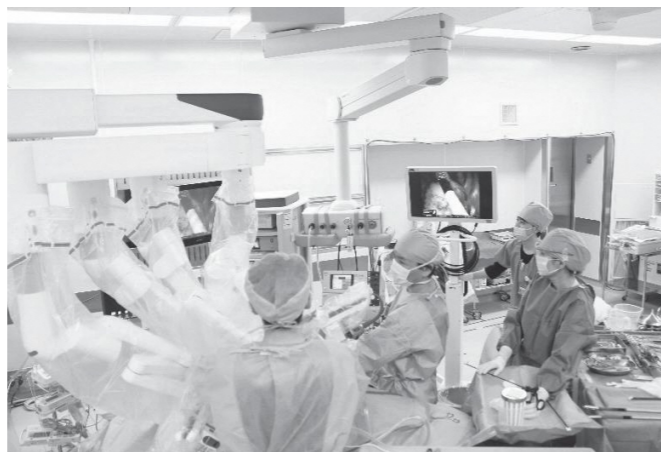
## ●問合せ先

- 担当者：日本海総合病院 総務課 職員係 佐藤友美
- TEL：0234-26-2001/FAX：0234-26-5114
- E-mail：kensyu@nihonkai-hos.jp/HP：http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/

# 日本海総合病院外科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

日本海総合病院を基幹施設とし、大学病院や地域の連携施設とともに病院施設群を構成しています。当院は山形県庄内医療圏の中心的な急性期病院であり、多くの症例を経験することができます。また、地域の中核病院として外科領域のコモンディーズや外科救急疾患も広く研修が可能です。施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行い、専門医取得に必要な経験を積むことが可能です。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	日本海総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	東北大学病院
連携	山形県立中央病院				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院											
2年目	日本海総合病院											
3年目	日本海総合病院						連携施設 A					

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院											
2年目	日本海総合病院											
3年目	連携施設 B						連携施設 C					

## ●取得可能なサブスペシャリティ

消化器外科専門医（日本消化器外科学会）、呼吸器外科専門医（日本呼吸器外科学会）、  
 心臓血管外科専門医（日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会・日本血管外科学会）、乳腺外科専門医（日本乳腺外科学会）

## ●処遇 ※日本海総合病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：【卒後3年目】基本月額349,700円+医務手当等425,000円  
 【卒後4年目】基本月額358,700円+医務手当等425,000円  
 【卒後5年目】基本月額384,300円+医務手当等445,000円
- 福利厚生：・赴任費用（引越費用：上限有）支給  
 ・個人用机とキャビネットを医局内に配置  
 ・世帯用宿舍あり。単身者には、住宅補助制度あり

## ●専攻医募集

- 応募資格：医師免許取得後、厚生労働省が定める2年間の初期臨床研修を修了した者、あるいは令和6年3月末日までに修了見込みの者
- 募集定員：2名
- 応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準ずる
- 選考方法：面接及び書類選考

## ●問合せ先

- 担当者：日本海総合病院 総務課 職員係 佐藤友美
- TEL：0234-26-2001/FAX：0234-26-5114
- E-mail：kensyu@nihonkai-hos.jp/HP：http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/

# 日本海総合病院産婦人科研修プログラム

## ●プログラムの特色

基幹施設である当院においては、豊富な症例を経験し、産婦人科全般の標準的、基礎的な技量を習得できます。また、地域医療を担う連携施設では地域の実情に合わせた実践的な医療を、より先進的な医療を担う連携施設ではより専門的な技量を習得できます。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	日本海総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院
連携	済生会山形済生病院	連携	公立置賜総合病院	連携	米沢市立病院
連携	山形県立新庄病院				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院											
2年目	連携施設 A						日本海総合病院					
3年目	連携施設 B											

## ●処遇 ※日本海総合病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：【卒後3年目】基本月額349,700円+医務手当等425,000円  
 【卒後4年目】基本月額358,700円+医務手当等425,000円  
 【卒後5年目】基本月額384,300円+医務手当等445,000円
- 福利厚生：・赴任費用（引越費用：上限有）支給  
 ・個人用机とキャビネットを医局内に配置  
 ・世帯用宿舍あり。単身者には、住宅補助制度あり

## ●専攻医募集

- 応募資格：医師免許取得後、厚生労働省が定める2年間の初期臨床研修を修了した者、あるいは令和6年3月末日までに修了見込みの者
- 募集定員：4名
- 応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準ずる
- 選考方法：面接及び書類選考

## ●問合せ先

- 担当者：日本海総合病院 総務課 職員係 佐藤友美
- TEL：0234-26-2001/FAX：0234-26-5114
- E-mail：kensyu@nihonkai-hos.jp/HP：http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/



# 日本海総合病院麻酔科専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

本研修プログラムでは、専門研修基幹施設である山形県庄内医療圏の中心的な急性期病院の日本海総合病院、山形県内にある専門研修連携施設である山形大学医学部附属病院、鶴岡市立庄内病院が地域においてどのような役割を果たしているかを体験することができる。日本心臓血管麻酔学会専門医認定基幹施設であり庄内地域で唯一の三次救急医療機関での研修が特徴である。これらの中で専攻医に整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、幅広く十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医の育成を目指す。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	日本海総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	鶴岡市立庄内病院
連携	東北大学病院(申請中)				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院											
2年目	日本海総合病院											
3年目	山形大学医学部附属病院、東北大学病院（ペイン、集中治療）											
4年目	鶴岡市立庄内病院						連携施設					
	連携施設						鶴岡市立庄内病院					

## ●取得可能なサブスペシャリティ

集中治療専門医（日本集中治療医学会認定）、日本心臓血管麻酔専門医（日本心臓血管麻酔学会認定）

## ●処遇 ※日本海総合病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：【卒後3年目】基本月額349,700円+医務手当等425,000円  
【卒後4年目】基本月額358,700円+医務手当等425,000円  
【卒後5年目】基本月額384,300円+医務手当等445,000円  
【卒後6年目】基本月額392,100円+医務手当等445,000円
- 福利厚生：・赴任費用（引越費用：上限有）支給  
・個人用机とキャビネットを医局内に配置  
・世帯用宿舎あり。単身者には、住宅補助制度あり

## ●専攻医募集

- 応募資格：医師免許取得後、厚生労働省が定める2年間の初期臨床研修を修了した者、あるいは令和6年3月末日までに修了見込みの者
- 募集定員：3名
- 応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準ずる
- 選考方法：面接及び書類選考

## ●問合せ先

- 担当者：日本海総合病院 総務課 職員係 佐藤友美
- TEL：0234-26-2001/FAX：0234-26-5114
- E-mail：kensyu@nihonkai-hos.jp/HP：http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/

# 鶴岡協立病院総合診療専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

鶴岡協立病院は医療生活協同組合やまがた（以下、医療生協やまがた）を母体にもち、同法人内に鶴岡協立リハビリテーション病院、四つの診療所、訪問看護ステーション、メディカルフィットネス、老健施設、デイケア、デイサービス、グループホーム、小規模多機能施設を有し医療から介護まで切れ目ない活動を行っております。また、医療生協やまがたは地域の4万人の組合員に支えられ、組合員の保険予防活動、健康増進活動など長く元気に暮らしたいという願いを実現するために共同の営みとして活動しています。

鶴岡協立病院総合診療専門研修プログラム（以下、本PG）は、そのような医療・介護活動を展開する地域の中規模病院を基幹施設として、院内の専門各科と協力し全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけることを目標とします。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	鶴岡協立病院	連携	至誠堂総合病院	連携	至誠堂総合病院附属中山診療所
連携	本間病院	連携	日本海総合病院		

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科研修 12ヶ月分（至誠堂総合病院）											
2年目	総合診療専門研修Ⅱ 12ヶ月（鶴岡協立病院）											
3年目	小児科 3ヶ月 (鶴岡協立病院または日本海総合病院)				救急科 3ヶ月 (日本海総合病院)				総合診療Ⅰ 6ヶ月 (本間病院または至誠堂総合病院附属中山診療所)			

## ●取得可能なサブスペシャリティ

なし

## ●処遇 ※鶴岡協立病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：医師免許取得後3年目：550,200円（月額）
- 福利厚生：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、退職金制度、院内保育所、医師賠償保険は病院にて加入

## ●専攻医募集

- 応募資格：初期臨床研修修了者または2024年3月終了見込み者
- 募集定員：2名
- 応募期間：新専門医機構に準ずる
- 選考方法：面接

## ●問合せ先

- 担当者：五十嵐・小林
- TEL：0235(23)6060/FAX：0235(23)6114
- E-mail：hisyo1@shonai-mcoop.jp/HP：http://y-mcoop.com/hospital/

# 山形県立こころの医療センター専門研修プログラム

## ●プログラムの特色

山形県立こころの医療センターを研修基幹施設とし、山形大学医学部附属病院精神科（山形市）、日本海総合病院精神科（酒田市）、東北会病院（仙台市）、三川病院（三川町）、沖縄県立精和病院（沖縄県）、東京医科大学病院（東京都）を研修連携施設として研修群を構成し実施します。

急性期から慢性期、乳幼児から老年期、任意入院から措置入院、更には医療観察法の入院までとほぼ全ての精神科臨床領域を網羅的に研修できるプログラムです。精神科医としての幅広い臨床経験が積めるうえ、精神科医療を包括的に捉える視点が自然と身につきます。



## ●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立こころの医療センター	連携	日本海総合病院精神科	連携	山形大学附属病院精神科
連携	東北会病院	連携	三川病院	連携	沖縄県立精和病院
連携	東京医科大学病院				

## ●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形県立こころの医療センター											
2年目	日本海総合病院精神科											
3年目	山形大学医学部附属病院精神科または東京医科大学病院						基幹施設及び連携施設のうち希望する病院					

## ●取得可能なサブスペシャリティ

- ・ 児童精神医学（日本児童青年精神医学会認定）・ 司法精神医学（日本司法精神医学会認定）・ 老年精神医学（日本老年精神医学会認定）
- ・ 総合病院精神医学（日本総合病院精神医学会認定）・ 精神科救急医学（日本精神科救急学会認定）

## ●処遇 ※山形県立こころの医療センター勤務の場合

- 身分：山形県職員
- 給与：山形県病院事業局給与規程による
- 福利厚生：休暇等は山形県病院事業局就業規程による

※詳細は下記までお気軽にお問合せください。

## ●専攻医募集

- 応募資格：医師免許取得後、2年以上の臨床経験を有すること
- 募集定員：5名
- 応募期間：令和5年10月～（予定）
- 選考方法：面接、集団討論 等

## ●問合せ先

- 担当者：山形県立こころの医療センター 総務経営課 総務主査（兼）臨床研修係長 菅原みか
- TEL：0235-64-8100/FAX：0235-24-1283
- E-mail：ycocoro@pref.yamagata.jp HP：http://cocorohosp-yamagata.jp/ リクルートサイト：https://cocoro-mc.jp/